

「選択ナビゲーター」機能について

- 選択ナビゲーターのメニューは、6カ所の主要なエリアで構成されています。
- ワークシート上で**範囲選択**し、「**選択ナビゲーター**」**ダイアログボックスのボタンをクリック**するだけで、**セル間／行間の移動**を行うことができます。
- 「位置指定」欄で希望の範囲を数値入力することによって、ワークシート上の**選択範囲を指定**することもできます。
- エクセル機能である「**名前の定義**」を設定することもできます。数式の引数は、通常はセル参照ですが、名前の定義で設定した「名前」を数式に用いることによって数式を簡略化させることができます。
- 入れ替え後は、エクセル機能の「戻る」ボタンで変更を戻すことはできませんので、ご注意ください。

① 「ActiveDataワークブックコマンド」グループ内の「ナビゲーター」から「選択ナビゲーター」をクリックします。

E	F				
8					
4					
3					
5					
17	11	2	129.00	458.00	Expression Professional Subscription
1	5	4	229.00	916.00	CCR DSS Toolkit 2008 Standard
19	58	2	129.00	458.00	Windows® 7 Professional Upgrade

「選択ナビゲーター」機能説明

選択範囲を拡張したい場合に使用します。

拡張したい方面に矢印の先が向かっているアイコンをクリックすることにより選択範囲が拡張されます。矢印の先端に赤ラインが引かれているアイコンは、矢印の先が向かっている側のデータの一番端まで範囲選択されます。

選択範囲を縮小したい場合に使用します。

縮小したい方面に矢印の先が向かっているアイコンをクリックすることにより選択範囲が縮小されます。

ワークシートの**選択範囲の行数と列数を保ったまま移動**させることができます。

移動させたい方面に矢印の先が向かっているアイコンをクリックすることにより選択範囲が移動します。矢印の先端に赤ラインが引かれているアイコンは、矢印の先が向かっている側のデータの一番端まで範囲選択が移動します。

ワークシートの**選択範囲の行数と列数を保ったまま選択範囲のセルを指定の位置のセルと入れ替える**ことができます。

移動させたい方面に矢印の先が向かっているアイコンをクリックすることによりワークシート上の選択範囲が移動先のセルと入れ替わります。矢印の先端に赤ラインが引かれているアイコンは、矢印の先が向かっている側のデータの一番端まで範囲選択が交換/移動します。



ワークシート上で**指定した選択範囲が数値で表示**されます。また、**数値を手入力**することで、ワークシートの選択範囲を指定することができます。

以下4つの項目で位置を指定することにより、範囲指定がなされます。

上位置：ワークシート上の範囲指定のうち、最上行セルが位置する行番号を入力します。

左位置：ワークシート上の範囲指定のうち、最左列のセルが位置する列番号を数値で入力します。

行数：「上位置」から下に向かっての範囲指定したい行数分を入力します。

列数：「左位置」から右に向かって範囲指定したい列数分を入力します。

複数の選択範囲を登録リストに登録/削除、また登録した複数の選択範囲を**任意の場所に結合し、貼り付ける**ことができます。

任意のセル範囲に名前を付けることができます。

名前は当該ブックに保存されます。名前の定義で登録した範囲は、リボン「数式」>メニューバー「名前の管理」からも確認することができます。

「**名前の定義**」で登録された名前を参照先に指定することで、**参照先へ移動**させることができます。通常のExcelの機能で設定された名前についても本機能を利用することができます。

本ダイアログボックスの**タイトルバーのみ表示**されます。ブックを開いている間は、浮動ツールバーとしてPC画面上の任意の位置に移動させることができます。